

戦いが始まります

この季節になると私たちは、スキーやそり遊びを楽しむために雪を待ち望む一方で、雪の中での毎日の生活のことを考え、雪が降らないことも望みます。

長期予報では、今年は暖冬傾向といわれるものの、やはり雪との戦いが気になります。ましてや、スタッドレスタイヤ時代となつた今、毎日利用する道路の安全性に寄せられる期待は大きなものがあります。市では、このような期待に添えるため除雪計画を組み、皆さんの安全に備えます。

しかし、いくら万全な除雪体制を整えても、皆さんのご理解とご協力がなければうまくいきません。そこで今回は、市の除雪体制とともに、皆さんにご協力いただくかなければならない点などを掲載します。

今年の冬はここに重点をおきます

この冬、市が除雪を担当する道路の総延長は四百二十五キロメートル、内訳は市道が三百九十五キロメートル、私道三十キロメートルです。また、通園、通学者など歩行者の通行に支障が出ないように歩道も三十四キロメートル除雪する計画です。これらの除雪には、市の車両と民間に委託する車両を合わせて百三台があたります。さらに、坂道などでのスリップを防ぐため、二台の融雪剤散布車の出勤を予定しています。

①路面状況を的確に把握して、初期除雪を完全に実施するとともに

に、融雪剤の散布回数を増やします。

②スタッドレスタイヤに対応するため、路面のでこぼこやわだちが生じないように作業します。

③交差点周辺は、歩行者及び車両の見通しが悪くならないように除雪を行うとともに、段差などが生じないように作業します。

④急な坂道や、橋の路面凍結が予想される場所については、朝夕方の二回、融雪剤を散布します。

緊急性の高い道路から除雪します

市では、気象情報をもとに、降雪量が五から十センチメートル以上と予想される場合に除雪車を出

動させます。降雪時の除雪作業は午前一時ごろから始め、交通量の多い主要幹線やバス路線、通園・通学路など緊急性の高い道路から順に除雪し、通勤や通学などに影響が出ないように配慮します。作業は交通の妨げにならないように、午前七時三十分ごろの終了をめどにしていますが、降雪時刻や降雪量によっては昼夜を問わず行います。降雪状況によっては、一部の地域でもう場所もありますので、あらかじめご了承ください。

排雪は町内単位でお願いします

朝早く起きてきれいに雪はねし、さあ出かけようとしたときや、仕事が終わりに家に着いたと思つたら玄関先の出入口に雪の山。「家の前には雪を置いていかないでよ!」こう言いたくなる気持ちはよく分かります。

除雪車は雪をかきわけただけで取り除くことはできません。それでも作業するときはなるべく出入口付近には雪を置かないように心がけていますが、今までの状態が一杯です。やはりこればかりは、皆さんの協力をお願いするしかありません。

これだけはご協力ください

- ・除雪作業がスムーズに実施できるよう、各家庭や地域でも次のようなことにご協力ください。
- ・路上にごみを出しておく作業中に散乱することがありますのでやめてください。
- ・木の枝、看板、自動販売機、ガスボンベなどは、作業の邪魔にならないように寄せておいてください。
- ・移動が不可能で、除雪車との接触が心配される門柱やガラス戸などには、あらかじめ板などをあてて防護したり、目立つ印を付けたりしておいてください。
- ・道路に面している屋根の雪は滑り落ちると大変危険です。雪下ろしをごまめにするなど十分に注意してください。
- ・各家庭の敷地内の雪を道路へ出すのはやめてください。
- ・除雪作業の妨げになりますので、路上駐車は絶対にやめてください。